

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎・・・実施済、○・・・一部実施又は着手、△・・・検討中、★・・・変更

令和8年6月2日現在

マニフェスト項目	達成状況	取り組み内容
物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策（第9弾）		
（1）織りなすクーポン第2弾の実施、など	◎	令和5年10月に対象市民（同年8月1日において蕨市の住民基本台帳に登録されている者）へ5,000円分のクーポンを発送。（総利用額：350,555,500円 利用率：96.49%）
1 みんなが自分らしく、健康で幸せに暮らせるまち蕨へ		
（1）市立病院の早期建替えて、安心の医療体制整備	○	令和6年1月より蕨市立病院整備検討審議会を開催。令和6年3月の第3回審議会での答申を踏まえ、同月、移転建替え方針（西公民館・松原会館を含む一体的な敷地での移転建替え）を正式に決定した。 「蕨市立病院整備基本構想・基本計画」については、令和6年5月より審議会で議論を行い、令和7年1月23日の第9回審議会で答申を受け、2月にはパブリック・コメント、市民説明会を実施、3月に策定した。 令和7年6月に新病院建設設計委託事業者をプロポーザルにより選定した「株式会社内藤建築事務所東京事務所」と契約した。令和8年3月に「新蕨市立病院建設基本設計（案）」をとりまとめ、パブリック・コメントや市民説明会などを実施の上、基本設計案の妥当性について検証を進めている。
（2）健康まちづくり（スマートウエルネスシティ）の推進	◎	令和6年3月に策定した第3次わらび健康アップ計画の中でスマートウエルネスシティ構想の推進を重点的な取組として位置付けをし、令和6年2月27日にSmartWellnessCity首長研究会へ加盟した。 また、令和6年度より「ウォーキングイベントin蕨市民公園」及び「蕨あるこうキャンペーン」を開催。令和7年3月に「スマートウエルネスシティ蕨アクションプラン」を策定した。令和7年度は、ウォーキングコースへの道路標示等を実施した。
（3）蕨らしい地域包括ケアシステムを構築	△	蕨らしい地域包括ケアシステムの構築の推進に向け、以下の取り組みを実施した。 ①地域づくりによる介護予防の推進：介護予防教室等の周知と参加者数の拡大（累計2,086人） ②包括的支援事業：地域包括支援センターの充実（総合相談件数累計29,378件） ③生活支援体制整備：有償ボランティア事業の担い手（新規団体0件）と利用者数の拡大（有償ボランティア利用件数累計3,735件） ④認知症総合施策：認知症初期集中支援チームの実働（累計3件）、認知症サポーター養成講座の受講者の拡大（累計441人） ⑤看護小規模多機能型居宅介護：介護と看護を一体的に提供する介護保険サービスの実施に向けて検討中。
（4）带状疱疹ワクチンへの助成	◎	蕨市带状疱疹予防接種費用助成金交付要綱を制定し、50歳以上の市民を対象に、乾燥弱毒生水痘ワクチンについては4,000円を1回、乾燥組換え带状疱疹ワクチンについては10,000円を2回を限度として、令和6年4月1日以降の接種費用に対して助成を開始。令和7年度から、全国的に高齢者を対象とする带状疱疹定期予防接種を開始（市独自による助成は継続）。
（5）高齢者の補聴器購入費への補助	◎	令和6年4月より、65歳以上の補装具費制度（聴覚障害の身体障害手帳）の対象とならない中等度難聴の市民を対象に、補聴器の購入に要する費用の一部（40,000円を上限）の助成事業を開始。
（6）県内で最も充実した敬老祝いの継続	◎	本市に居住する高齢者に対し敬老祝金を贈呈することにより、敬老の意を表すとともに長寿を祝うことを目的として実施しており、令和7年度は3,397人に支給した。今後も事業を継続していく。
（7）障害のある方の生活支援や就労支援など包括的支援体制を整備	○	令和6年4月より、ドリーマ松原に拠点コーディネーターを配置し、令和7年度末時点で「地域生活支援拠点等」の5つの機能のうち、3つの機能（令和6年度：「相談」「地域の体制づくり」 令和7年度：「緊急時の受け入れ・対応」）を整備した。
（8）障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携	○	入所施設の整備に当たって課題となる、運営を担う法人、土地、建設資金の確保などについて、今一度見直しを行い、課題克服の方策を研究、検討を行った。
（9）精神障害のある方へのタクシー券助成	◎	令和6年3月より申請受付及び配付を行い、同年4月より助成を開始した。（令和6年度：27人、885枚配付、281枚使用。令和7年度：18人、510枚配付）
（10）ヤングケアラー支援条例の制定	◎	令和5年12月25日～令和6年1月15日までパブリックコメントを実施し、令和6年3月21日に蕨市ヤングケアラー支援条例を制定。令和7年度に小中学生に記名式のアンケート調査を実施。
（11）養育費保証支援制度の創設などひとり親家庭への支援拡充	◎	令和6年4月1日に養育費確保支援事業補助金制度を創設し、ひとり親家庭への支援を実施。 また、令和6年度は、児童扶養手当受給家庭に子ども1人当たり2万円の特別給付金を支給する「ひとり親家庭等物価高騰重点支援特別給付金」を実施。
（12）地域福祉計画と再犯防止推進計画の策定	◎	令和5年10月に学識経験者や関係者で構成する策定懇談会を設置し策定を進め、市民アンケート（令和5年11月から同年12月）、ワークショップ（令和6年2月22日と同年3月7日実施）、関係団体へのヒアリング調査（令和6年3月）等により、ニーズなどの把握を行った。 令和6年4月より骨子案、令和6年6月より素案の作成を進め、令和6年12月から令和7年1月にかけてパブリックコメントを実施し、令和7年2月に庁内連絡会、策定懇談会の確認を経て、令和7年3月に策定した。
（13）ジェンダー平等を推進、多様性を尊重し、パートナーシップ制度を早期に導入	◎	令和5年度に、審議会等委員の女性登用率が42.8%となり、令和4年度と比較して0.9ポイント増加した。 また、蕨市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を令和5年7月に制定。令和5年度からの届出件数は、累計11件(令和5年度：5件 令和6年度：4件 令和7年度：2件)

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎・・・実施済、○・・・一部実施又は着手、△・・・検討中、★・・・変更

令和8年6月2日現在

マニフェスト項目	達成 状況	取り組み内容
2 だれもが安全で安心して暮らせるまち蕨へ		
(1) 災害用トイレの整備や水道の更なる耐震化、大規模水害対策の強化	○	【災害用トイレの整備】 令和6年度末までに累計で市立小・中学校全10校にテント型集合トイレを整備。令和7年度に市立小・中学校全10校に追加購入。指定避難所等20カ所に自動ラップ式トイレを整備。自主防災会を通じてトイレ処理セットの共同購入を実施（令和5年7月：2万2,250回分 令和6年9月：1万4,795回分 計3万7,045回分）。 【水道の耐震化】 管路更新計画に基づき、管路に係る耐震化等の工事を計画的に進め、重要施設配水管路の耐震適合率は、令和5年度当初の89.1%から令和7年度末時点で95.4%まで上昇した。 【大規模水害対策】 令和7年8月に、改定した内水ハザードマップの全戸配布を行った。 分流地区（錦町）の雨水下水道整備については、雨水管渠築造工事を実施し、分流地区雨水下水道整備率は、令和5年度当初の17.3%から令和7年度末時点で21.3%に上昇した。 災害用資機材については、令和5年度に消防本部へ2艇の救助用ボートを整備し、令和6年度に消防団（第1分団・第5分団）へ2艇及び令和7年度に消防団（第2分団・第3分団・第4分団・第6分団）に4艇を整備完了。ドローンについては、令和7年度に整備完了し、災害用資機材については令和7年度をもって全て達成した。 令和6年5月2日に山梨県笛吹市と「災害時における相互応援に関する協定」の締結。引き続き、他自治体と広域避難に関する協定や覚書の締結に向けた協議を進めていく。
(2) 自主防災組織への支援と民間企業・団体との更なる防災協定の締結	◎	令和5年度中に全19カ所の指定避難所に避難所運営協議会を設置。 令和6年3月28日に株式会社ルネサンスと「災害時における施設開放及び運動支援に関する協定」を締結。 令和6年5月2日に山梨県笛吹市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結。 令和7年3月28日に社会福祉法人畏敬会と「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結。 令和7年3月28日に特別養護老人ホームいきいきタウン蕨と「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結。 令和7年5月2日に和楽備神社と「災害時における施設開放に関する協定」を締結。 令和8年3月24日に笑美キッチンカー協会と「災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等の実施に関する協定」を締結。
(3) 街なか防犯カメラ増設と防犯カメラ設置費補助	◎	街なか防犯カメラは、令和6年4月に全町会へ増設に関する要望照会を実施し、60基増設。家庭用防犯カメラ設置費補助（個人：上限20,000円、共同住宅：上限100,000円）は、令和6年4月より実施。
(4) 交通安全対策や振り込み詐欺被害防止のいっそうの推進	◎	自転車用ヘルメット購入費補助金（購入金額の2分の1の額で上限2,000円）及び通話録音機能付電話機購入費補助金（上限20,000円）について、予算を増額し事業を継続実施。 （自転車用ヘルメット購入費補助金：令和5年度 1,021件 令和6年度 604件、令和7年度 469件 通話録音機能付電話機購入費補助金：令和5年度 59件 令和6年度 86件 令和7年度 59件）
(5) 犯罪被害者支援条例の制定と見舞金拡充	◎	令和5年9月に犯罪被害者支援条例を制定し、見舞金を拡充した。
3 子ども達がいきいきと育つ、子育てしたいまち蕨へ		
(1) 蕨駅前に、便利で魅力的な図書館を整備（若者コーナー、カフェ、夜間開館等）	○	若者コーナーとしてのYAエリアとグループ学習室の整備及び、近隣市を参考にした夜間開館時間やカフェコーナーなどの検討をすすめ、令和8年3月に蕨市新図書館整備基本方針を策定した。
(2) 給食費の完全無償化を国とともに推進 市独自に2人目以降給食費無償化を早急に実施	○	令和6年4月分から第2子以降の義務教育期間における蕨市立小・中学校の学校給食費無償化事業を実施。 令和8年4月分から小学校において国・県の交付金を活用して無償化を実施。 また、中学校においては、引き続き市独自に物価高騰分の補助及び第2子以降の給食費無償化を実施。
(3) 県南初の18歳までの子ども医療費完全無料化	◎	令和6年4月1日診療分より、18歳までの通院にかかる医療費の助成を実施。
(4) 子どもの居場所づくりとボール遊びや自然とふれあえる公園の整備	○	【子どもの居場所づくり】 令和6年1月に「多機能型地域子育て支援センターほっこり～の蕨中央」にて新たな子ども食堂を開始し、支援を実施。引き続き既存の子ども食堂実施団体へも支援している。 【公園】 自然とふれあえる公園（錦町1号公園）は、令和6年度に基本設計、令和7年度に実施設計を行った。区画整理事業の進捗に合わせて令和8年度に整備工事を予定している。ボール遊びができる公園は、令和6年度に場所の選定及び地元説明を行い、市民公園内にボール広場を整備することが決定し、令和7年度に実施設計を行った。令和8年度に整備工事を予定している。
(5) 全学校トイレの洋式化とICT環境のいっそうの整備	○	【トイレ洋式化】 令和7年度に小学校3校のトイレ改修工事了。 令和8年度当初予算において、小学校4校のトイレ改修工事および中学校3校のトイレ改修工事設計委託を予算化。 【ICT環境整備（ハード）】 令和7年度に東中学校にDXルームを整備し、市内3中学校への整備が完了した。また県の共同調達により児童生徒のすべての学習用端末の入れ替えを完了した。
(6) 子ども達が絵本にふれあえる「セカンドブック」事業の実施と読書通帳作成	◎	令和6年4月23日より、読書通帳（わたしのよんだ本～読書・よみきかせ手帳～）の配付・運用開始。 令和7年4月11日より、セカンドブックの配付開始。
(7) スクールカウンセラーの増員や学習室の拡充など、不登校の子ども達への支援充実	◎	令和6年4月より担当指導主事1名を教育センターへ配置。 令和7年度よりスクールカウンセラーを1名増員するとともに、中学校3校への校内教育支援センター（e-station）の環境整備や、専任の市費教員・支援員を配置した。 令和8年度より小学校4校への校内教育支援センター（e-station）の環境整備や専任の市費教員を配置し、市内小学校に通う児童が利用できるように整備した。
(8) 発達障害の子や医療的ケア児と家族への支援拡充	○	医療的ケア児とその家族への支援の一環として、令和6年4月1日から日常生活用具給付事業において、給付対象となる品目の追加を行った。 令和7年度から特別支援教育支援員を5名増員し市立小中学校に15名配置するとともに、支援を必要とする子ども達に向けた通級指導教室「こころの教室」を2校増設し市立小学校4校、市立中学校3校設置した。
(9) 産後ケアや一時保育、親子の居場所づくりの充実	◎	令和6年1月に「多機能型地域子育て支援センターほっこり～の蕨中央」にて、産後ケア事業、一時保育事業、親子の居場所づくり事業を実施。産後ケア事業委託事業所数は、令和5年度：4カ所、令和6年度：11カ所、令和7年度：13カ所、令和8年度：13カ所

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎・・・実施済、○・・・一部実施又は着手、△・・・検討中、★・・・変更		令和8年6月2日現在	
マニフェスト項目		達成状況	取り組み内容
4 楽しく、活気のあるまち蕨へ			
(1) 蕨の未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発の推進・完成		○	事業施行者である組合の活動を支援する。令和5年8月に施工業者が決定、令和6年1月から施設建築物等の工事に着手している。令和7年度は、主に躯体工事を行った。令和8年度以降も引き続き組合を支援し駅前広場等の公共施設を含めて令和9年度の竣工を目指す。
(2) 中山道に「にぎわい交流拠点」を整備		○	令和5年度は先進事例の視察や関係企業へのヒアリングを通じて調査研究等に取り組むとともに、令和6年度は、にぎわい交流拠点の整備方針や導入機能を明確にするため、専門のコンサルタントによる市場調査等を実施し、令和7年3月に「蕨市仮設庁舎跡地利活用基本計画」を策定した。令和7年度は、同計画に基づき公共機能部分（物販施設、広場等）及び民間機能部分（飲食施設等）について、それぞれ整備事業者の公募・選定を実施し、民間施設部分については、令和8年2月に「珈琲所コメダ珈琲店蕨宿店」が開業するとともに、公共機能施設部分については、令和8年3月に施設の設計概要等に係る市民等への意見募集を実施した。
(3) 駅前通りを「にぎわい交流軸」として整備		○	中央第一地区内において令和7年度には、未取得である用地について、要綱にもとづき買取りの手続きを進めるとともに、駅前通り一部区間(県道～桜橋通りまで 約160m)の整備等について、沿道の関係者を対象にワークショップを開催し、基本設計を取りまとめた。令和8年度に実施設計、令和9年度に整備工事を行う予定。
(4) 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参加		◎	令和6年1月30日に蕨市のエントリーシートが埼玉版スーパー・シティプロジェクトホームページに公開された。令和6年度にプロジェクトの1つである「にぎわい交流拠点整備事業」に対する事業化検討補助金が交付された。
(5) 街なかの商店で、楽しくお買い物ができるまち（サブリースなど空き店舗活用の推進、創業講座や事業承継への支援）		◎	令和6年3月に蕨市、蕨商工会議所、金融機関、不動産、蕨市にぎわまちづくり連合会等で構成された蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置するとともに、令和6年11月14日に空き店舗等の有効活用等を通じたにぎわいの創出、地域経済の活性化を目的とし、蕨市、蕨商工会議所、株式会社ジェクトワン、株式会社埼玉りそな銀行の4者からなる空き店舗有効活用等の促進に関する協定を締結するなど、官民連携による空き店舗対策を推進している。 令和5年度から累計16件（令和5年度：5件 令和6年度：6件 令和7年度：5件）が空き店舗有効活用事業補助金を活用して出店した。
(6) 中央プールを室内プールに改修、学校とも連携		△	令和6年4月1日「蕨市 中央プール 室内温水化等に向けての庁内検討委員会」を設置し、令和6年度に3回、令和7年度に1回の庁内検討委員会を開催。令和7年11月に小学校水泳授業委託事業の視察を実施。中央プールを利用した水泳授業実施については検討中。
(7) 富士見野球場・塚越グラウンド整備、グラウンドゴルフ場の確保など生涯スポーツの更なる推進		○	富士見野球場の改修は、令和6年度に完了。塚越グラウンドは、令和7年度に基本設計を行い、令和8年度に実施設計、令和9年度に整備工事に着手する予定。グラウンドゴルフ場の確保については、令和5年度に利用団体等の意向に応じて、ふるさと土橋公園を利用可能とした。引き続き、公園等での利用の場を確保していく。
(8) 音楽のまちづくりや生涯学習の更なる推進と充実 公民館等へのWi-Fi設置		○	【音楽のまちづくり】 蕨市民音楽祭は、令和7年度は7会場14イベントを開催。新たな試みとして、昭和100年特別企画の「君こそスターだ!カラオケ大会」の開催、「音の架け橋」フィナーレにおける出演団体の合同演奏などを実施した。令和5年度からの参加者の累計は、19、436人（令和5年度：6、618人 令和6年度：6、280人 令和7年度：6、538人） 【生涯学習】 第4次蕨市生涯学習推進計画の策定に向け、生涯学習推進庁内連絡会などで検討を進め、令和7年3月に策定した。 【公民館等へのWi-Fi設置】 令和5年10月2日より新庁舎において運用を開始。 令和5年4月から10月にかけて東・北町・中央公民館で実証実験を実施し、課題の整理を行い、運用方法やルールを決定。令和6年6月市内全公民館にて供用開始。
(9) 現図書館を文化芸術の拠点として活用を検討		△	令和6年度は文化芸術の拠点としての活用方法について、現施設の現状等も踏まえながら、関係各課で協議を行い、令和7年度には庁内検討委員会を設置した。

市長マニフェスト取り組み状況一覧

◎…実施済、○…一部実施又は着手、△…検討中、★…変更

令和8年6月2日現在

マニフェスト項目	達成 状況	取り組み内容
5 住み心地の良い、日本一のエコシティ 蕨へ		
(1) ゼロ・カーボンシティを宣言	◎	令和6年5月27日に蕨市ゼロ・カーボンシティ宣言を表明。
(2) 太陽光発電の補助拡充など省エネ・再エネ加速化	◎	地球温暖化対策設備等設置費補助金について、令和5年度は、補助金額の増額10万円から15万円）、新たに6つの設備（電気自動車・据置型電気自動車等充電設備（V2H）・太陽光発電システムなど）を補助対象へ追加、市内事業者を補助対象に追加し、令和7年度は、宅配ボックス・生ごみ処理容器・生ごみ処理機を補助対象設備に追加し、拡充を行った。 令和7年度に公用車1台をEV化済。
(3) ブランター・ファーム in わらびの推進	◎	令和6～8年の苗木市において、市内農家が育てた苗木500本の無料配布を実施。 プランターキットについては、令和6年度から応募申請受付を開始し、累計541個（令和6年度：272個 令和7年度：269個）配布した。 フォトコンテストについては、令和6年度からフォトコンテスト表彰式を園芸品評会と同時開催し、累計151名（令和6年度：60名 令和7年度：91名）参加。
(4) 民間事業者と連携し、シェアサイクルを実施	◎	現在、民有地含め令和5年6月の15ステーションから令和8年4月末時点で54ステーションへ増設。そのうち公有地としては、10ステーションから16ステーション（令和6年11月1日に5ステーション、令和7年2月11日に1ステーション）に増設した。また、シェアサイクルポート密度が、令和7年9月末時点で埼玉県内1位、令和8年4月末時点で日本1位となった（※「HELLO CYCLING」を運営するOpenStreet株式会社の調査による）。
(5) 片品村などとカーボンオフセットを推進	◎	令和6年5月20日に群馬県片品村と森林整備の実施に関する協定を締結。
(6) 錦町土地区画整理事業の更なる推進	○	令和7年度は、家屋移転14戸に加え、路線延長492.4mの街路築造工事等を実施し、整備面積は、令和7年度末時点で58.4haとなった。
(7) マンション管理適正化計画の推進と相談支援体制拡充	◎	マンション管理に関する問い合わせを随時ホームページへ掲載し、戸田市と共催でマンション管理基礎セミナーを開催。マンション管理情報誌を2回発行。また、令和7年度より月に1度マンション管理に関する相談会を実施。
6 みんなで創る未来に飛躍するまち 蕨へ		
(1) 蕨駅前に行政センターとバスポートセンター整備	○	行政センターでの各種証明書発行や住民票異動手続、パスポートに係る事務等に関する課題の整理及び運営体制について、近隣他市の状況等を踏まえ、関係各課で協議を行い、令和7年度には業務内容を決定した。
(2) 行政と民間企業・団体との連携（公民連携）推進	◎	令和5年6月以降の新たな協定締結数は、17件（令和5年度：5件 令和6年度：8件 令和7年度：3件 令和8年度（現時点まで）：1件） 更なる公民連携推進のための新たな制度の創設についても検討中。
(3) わらびSDGsパートナー制度の創設やSDGs提案制度の創設	◎	令和5年度にSDGs提案制度を創設。令和7年度の提案件数は7件となり、6件採択された。 令和7年度に「蕨市SDGsパートナー制度」を創設。（令和7年度：9件認定）
(4) おくやみ窓口設置や外国人の総合相談窓口の設置	◎	おくやみ窓口については、令和5年10月より設置。 外国人総合相談窓口については、令和5年10月より設置し、英語と中国語の話せる相談員を配置するとともに、タブレット端末やポケトーク等の翻訳機を設置。
(5) 東公民館の行政センター機能強化、塚越ビジョン策定	△	東公民館での新サービスについては、塚越連絡室利用者の意見等を参考に、新サービスの選定、またその調査・研究を進めている。 塚越ビジョンについては、担当課においてビジョン策定に当たっての諸課題の整理を行い、令和7年2月に組織横断的な庁内検討組織として、「蕨市塚越ビジョン策定検討委員会」を設置し、第1回会議を6月に開催した。 令和7年度から市民意識調査や利用者アンケート、キーパーソンヒアリングなどを実施。
(6) 自治体DXの推進で、便利で効率的な市役所へ	◎	スマート窓口（異動受付支援システム）の設置、AI・RPAの導入、キャッシュレス決済の拡大及びデジタルデバйд対策（スマホ教室など）の事業を継続するとともに、令和7年3月に策定した「蕨市DX推進計画」に基づき、令和7年度では母子健康手帳アプリ、ICTを活用した図書館サービス、LINEを活用した情報発信など7つの事業の運用を開始。

※「すぐ」：令和5年度に実行・着手、「2年」：令和7年度までに実行・着手、「4年」：令和9年度までに実行・着手、「継続」：令和9年度以降まで継続又はこれまでの取組を継続・充実

実施済み	30
一部実施又は着手	16
検討中	4
変更	0
合計	50
達成度	92%